

# 白衣アートが医療に与える価値

すべての人に問う  
どんな看護師から看護を受けたいか

看護師が、自分らしく、幸せに生きているから  
人を幸せにできる。

看護師は、この姿でしか、信頼をえられないのだろうか。  
その答えは、全ての人が「あるべき論」を捨てて初めて見える。  
着ている服が綺麗ならば、白衣である必要などないのだ。

高齢者における認知症は、脳への刺激が少なくなることが悪影響を与える。  
病院は、壁も床も、目の前に現れる医療者も、全て白など無垢なものに統一されている。  
その環境は、認知症を作り上げていると行っても過言ではない。

患者やその家族の気持ちになってほしい。  
「いつもお世話してくれる看護師の〇〇さんだから安心して受けられる」  
看護師の個性は、患者や家族との信頼関係を作り  
看護師の仕事へのモチベーションと、看護への丁寧さへ影響する。

看護を受けるその人たちの笑顔を作るには、アートが必要だ。